

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-0721					
施設名	多摩境敬愛保育園					
施設所在地	町田市小山町4464					
法人名	敬愛学園					
活動期間	令和	7	年	4	月	から 令和 8 年 1 月
活動内容の公表	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。					
	公表したホームページ等のURL					bs://www.keiaigakuen.com/hoikuen/tamasakai/tay

2. 活動報告（注1）

番号	1																														
テーマ	音																														
実施回数・期間 (注2)	0歳児…楽器を鳴らそう4回 1歳児…どんぐりマラカスその他3回 2歳児…楽器を鳴らそう3回 3歳児…聴診器でいろんな音をきいてみよう8回 4歳児…楽器の音の違いを感じる複数回 5歳児…聴診器で木や葉の音をきく複数回																														
対象クラス・ 対象人数	<table><tr><td>0歳児クラス</td><td>1歳児クラス</td><td>2歳児クラス</td><td>3歳児クラス</td><td>4歳児クラス</td><td>5歳児クラス</td></tr><tr><td>9</td><td>人</td><td>10</td><td>人</td><td>12</td><td>人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>16</td><td>人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>17</td><td>人</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>17</td><td>人</td></tr></table>	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	9	人	10	人	12	人					16	人					17	人					17	人
0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス																										
9	人	10	人	12	人																										
				16	人																										
				17	人																										
				17	人																										
活動内容 (注3)	※各クラスの探究活動の様子は活動報告に記載済み 各クラス、お子様が知りたい、やってみたいことを主体的に考え探し出し、継続的に探究を深める活動を進めてきた。特に、特にそれぞれのクラスで音をテーマに楽器あそびなどをしてきたが、聴診器を用意したところ、活動の幅が広がり昆虫や植物にも音があることを発見した。 ✓ グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 幼児組は音探しクイズなど対話が広がる遊びから、お子様の心が動く瞬間を見逃さずタイミングをみて必要な物品を用意した。 ✓ 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 写真、動画を基本としながら、毎日のドキュメンテーションでその日のフィードバックを必ずしてお子様の発した言葉を記録するようにした。 ✓ 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 保育士が先回りして動いたり、言葉を言ったりしないように気を付け、なるべく自分たちで進めていけるように活動を進めてきた。 ✓ 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 毎日のフィードバックでその日の活動を振り返り、発見したこと、気づいたことを皆で周知している。また、保育士も自らの保育を振り返る保育士の視点もドキュメンテーションには記録している。 ✓ 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 職員研修会議、学園内施設での研修において発表した ✓ 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 継続的な実施は、いかにお子様が明日に期待をもって登園できるかになってくるので、毎日のフィードバックで明日やりたいことをお子様と確認するようにしている。																														

(注1) 活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。
(注2) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。
(注3) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがかかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。

実施報告書

1. 確認事項等

施設番号	66-0721										
施設名	多摩境敬愛保育園										
施設所在地	町田市小山町4464										
法人名	社会福祉法人 敬愛学園										
活動期間	令和	7	年	4	月	から	令和	8	年	2	月
活動内容の公表	活動報告書を作成し、園のホームページ等で公表した。										
	公表したホームページ等のURL ps://www.keiaigakuen.com/hoikuen/tamasakai/tay										

2. 活動報告（注1）

番号	1
テーマ	自然
実施回数・期間 (注2)	0歳児…落ち葉どんぐり4回 1歳児…ダンゴシム4回、どんぐり4回 2歳児…どんぐり2回 3歳児…自然物7回 小動物6回 太陽、月14回 4歳児…海3回 5歳児…年間を通して鳥の探究
対象クラス・ 対象人数	0歳児クラス 1歳児クラス 2歳児クラス 3歳児クラス 4歳児クラス 5歳児クラス 9 人 10 人 12 人 16 人 17 人 17 人
活動内容 (注3)	※各クラスの探究活動の様子は活動報告に記載済み 各クラス、お子様が知りたい、やってみたいことを主体的に考え探し出し、継続的に探究を深める活動を進めてきた。特に、5歳児クラスは5月～2月まで鳥の生態、環境問題に至るまで、自分たちで調べて発表するまでのスケールの大きな活動となった。 ✓ グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促した。 ※乳幼児同士の関わりを促すためにどのような工夫をしたか 対話のきっかけは環境づくりを基本に、お子様の心が動く瞬間を見逃さずタイミングをみて必要な物品を用意した。 ✓ 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録した。 ※記録をどのように行ったか 写真、動画を基本としながら、毎日のドキュメンテーションでその日のフィードバックを必ずしてお子様の発した言葉を記録するようにした。 ✓ 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行った。 ※主体的な活動のためにどのような工夫をしたか 保育士が先回りして動いたり、言葉を言ったりしないように気を付け、なるべく自分たちで進めていけるように活動を進めてきた。 ✓ 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返った。 ※振り返りの実施方法 毎日のフィードバックでその日の活動を振り返り、発見したこと、気づいたことを皆で周知している。また、保育士も自らの保育を振り返る保育士の視点もドキュメンテーションには記録している。 ✓ 幼稚園等の各施設の教諭同士や保護者等に、探究活動の内容を共有した。 ※教諭や保護者等への共有方法 職員研修会議、学園内施設での研修において発表した ✓ 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考えた。 ※継続的な実施のための工夫 継続的な実施は、いかにお子様が明日に期待をもって登園できるかになってくるので、毎日のフィードバックで明日やりたいことをお子様と確認するようにしている。

(注1) 活動報告は、複数の活動内容を実施した場合は、活動ごとに記入してください。

(注2) 「実施回数・期間」欄には、今年度に継続的（月を単位とする複数月）に実施した取組の実施状況を記入してください。なお、原則、単発で実施した取組については対象になりません。

(注3) 「活動内容」欄には、どのような取組を行ったのかがわかるよう記入してください。また、活動報告書等、取組を行ったことがわかる書類の写しを提出してください。